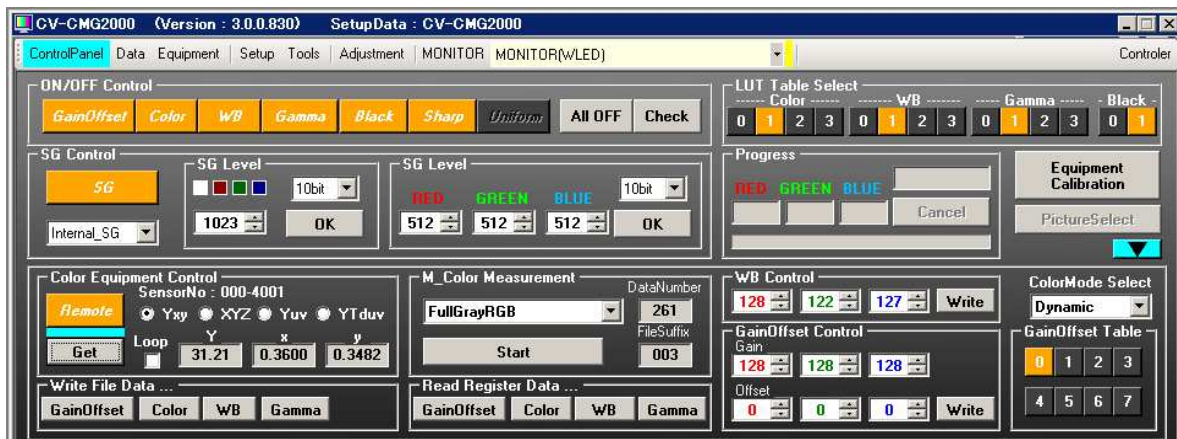


コニカミノルタ製の色彩色差計をコントロールし、色度、輝度測定だけでなく、さまざまな自動調整機能を有するソフトウェアです。



測定器として使用する場合の単体機能



CV-CMG2000 のインターフェース上に測定結果を表示します。

(測定項目)

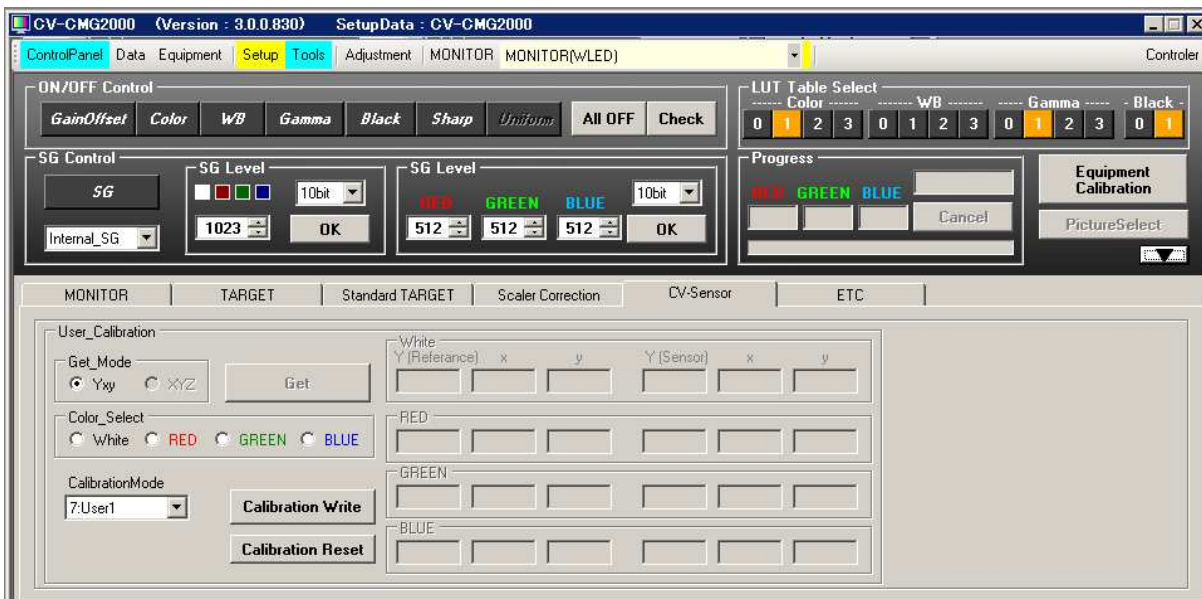
測定項目は色彩色差計の仕様によります。

社内基準測定器との校正

すでに、社内に色度、輝度の基準測定器がある場合は、その基準測定器と同じ測定値となるような校正ができます。

RGBW の4色について、基準測定器と対象の色彩色差計で測定するだけで、簡単に校正できます。

なお、基準測定器は、コニカミノルタ CS-1000、CS-2000、Topcon SR-3 などの、精度の高い物をお使いください。



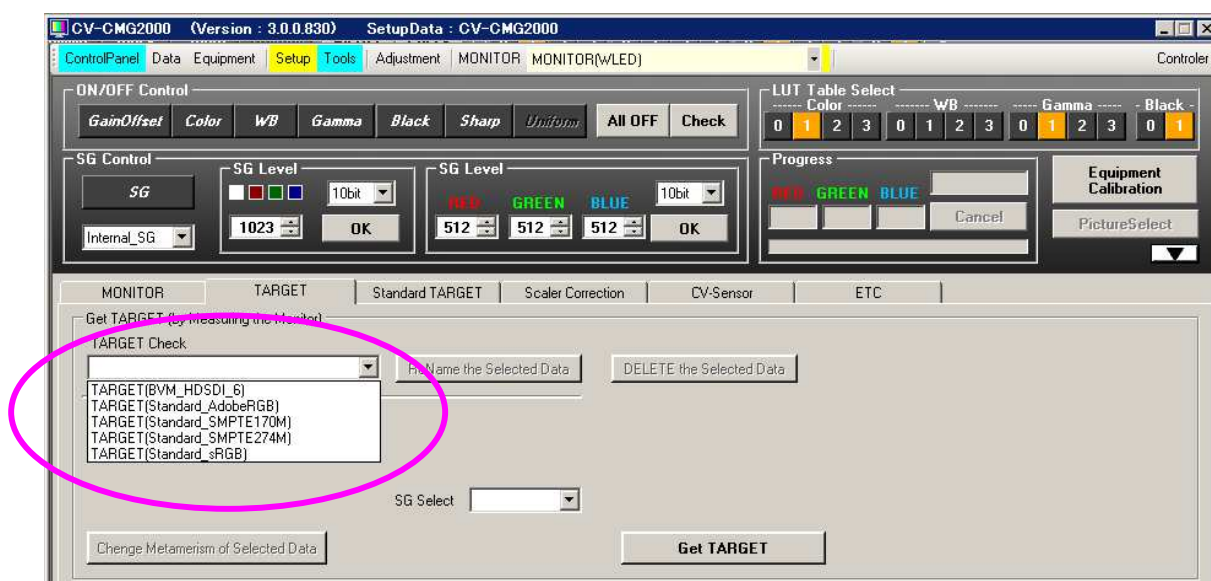
カラーエンハンス IC と組み合わせた場合の色調整機能

単純な色の測定だけでなく、カラーエンハンス IC が搭載されたディスプレイの自動調整システム構築されます。

カラーエンハンス IC と組み合わせた場合の特徴

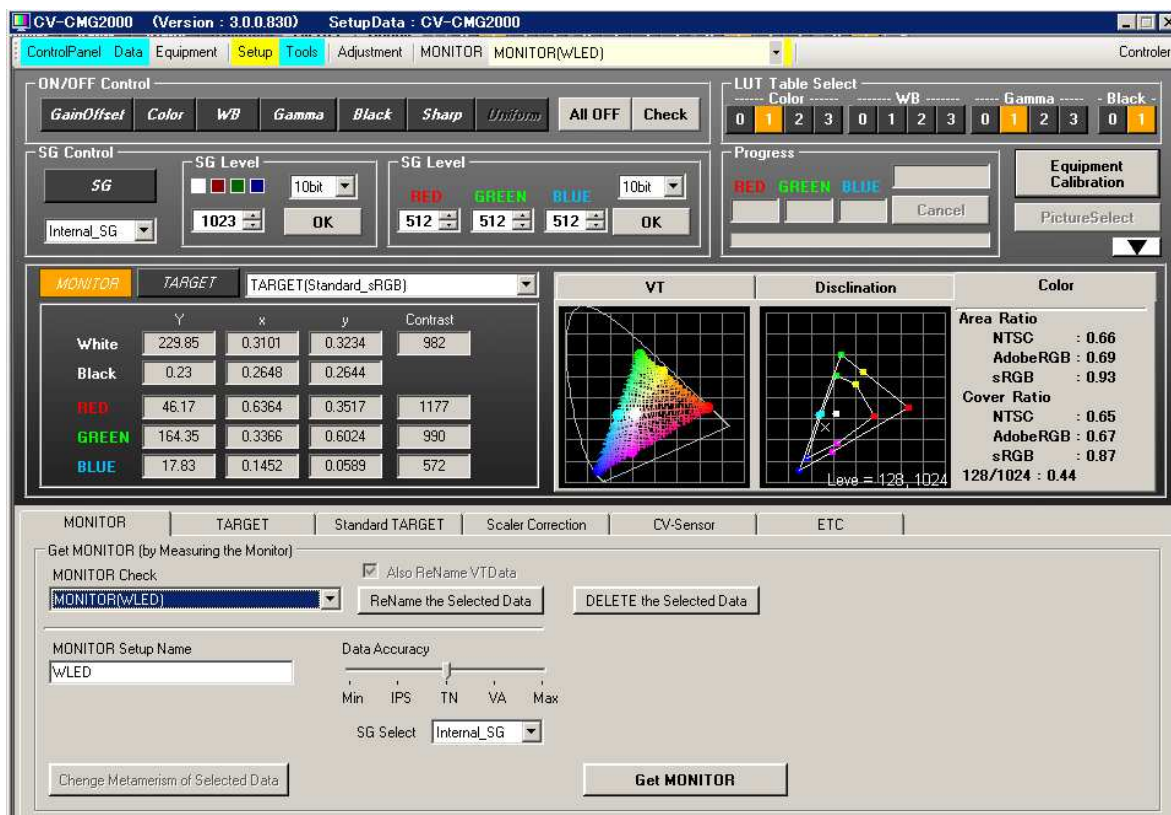
1. Target 色空間を指定した自動調整

sRGB、AdobeRGB、DCI など、規格に定められた色空間を選択するだけで、正確に調整します。使用する LCD パネルが変更になっても、指定された色空間に調整されるため、同じ色を再現することができます。



2. Monitor、LCDTV の自動評価

LCD パネルの光学特性を、精密に自動測定し評価します。



評価項目

- RGB、White、Black の色度/輝度/コントラスト
- VT カーブ
- 色度の NTSC 比、AdobeRGB 比など
- 色度範囲のカバー率など

3. スケーラの特性評価とスケーラ補正機能

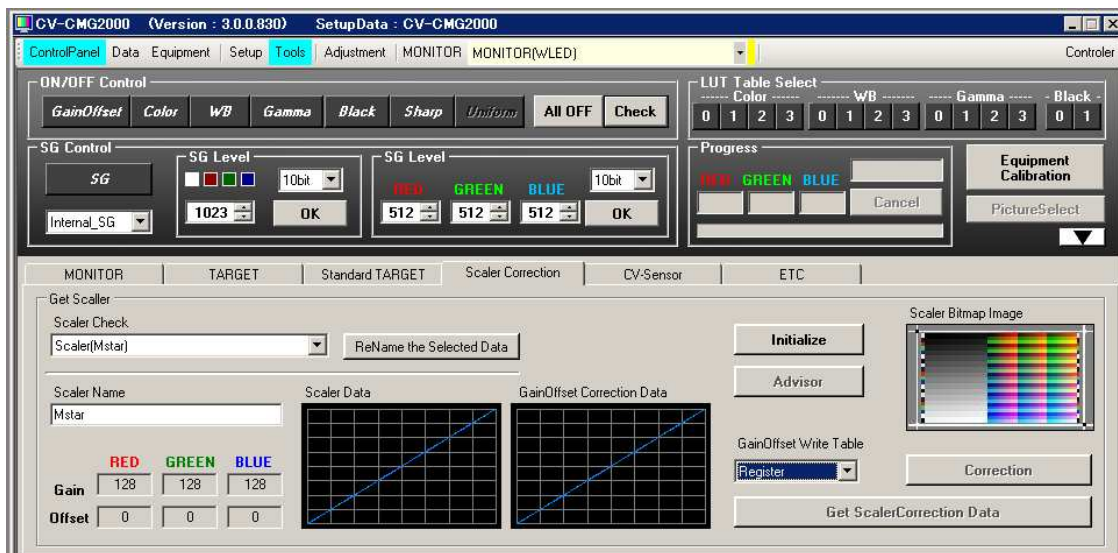
LCD モニタ、LCDTV では、様々なスケーラを採用することが多くなってきています。

DVI、HDMI などのデジタル入力であれば、どのスケーラを使っても、その出力は同じになるはずなのですが、実際はスケーラ内の演算誤差が多く、スケーラボードを変更すると色が変わってしまうという問題点が指摘されています。

本機能は、外部の DVI または HDMI から弊社指定の測定用画像を表示することで、スケーラ内の誤差を測定することができます。更に、そのデータを元に、スケーラの誤差を補正した GammaLUT、ColorLUT を生成することができます。

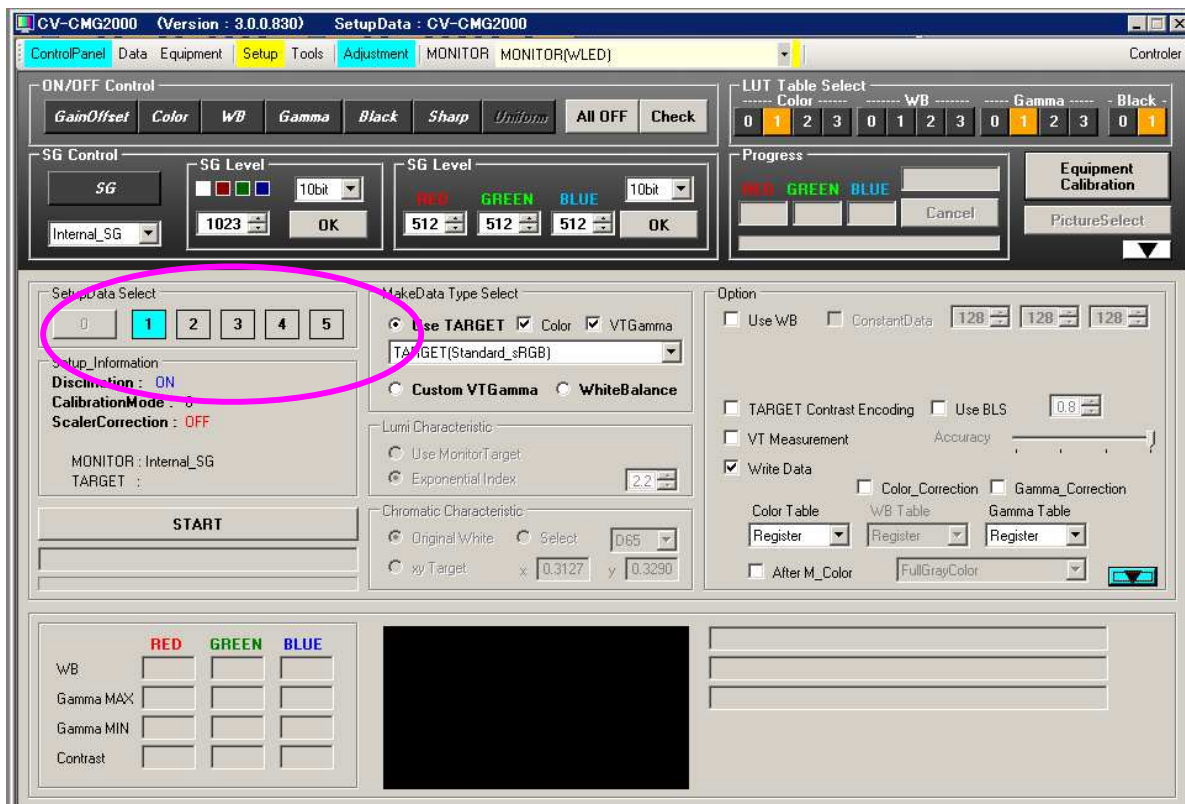
ですから、スケーラの演算誤差、ColorSpace の間違いなどがあっても、全て同じ色に調整することが可能になりました。

スケーラの測定時間は、およそ10分程度です。



4. 量産自動調整システムへの対応

CV-CMG2000 は、研究開発用だけでなく、量産用の調整システムとしても活用できます。LCD パネルを高精度に調整するのは、生産ラインで1台ごとの測定と調整が必要です。CV-CMG2000 は、最大5種類の TARGET 色空間を指定でき、1回の測定で、最大5種の GammaLUT、ColorLUT を生成し、カラーエンハンス IC にデータ転送できます。

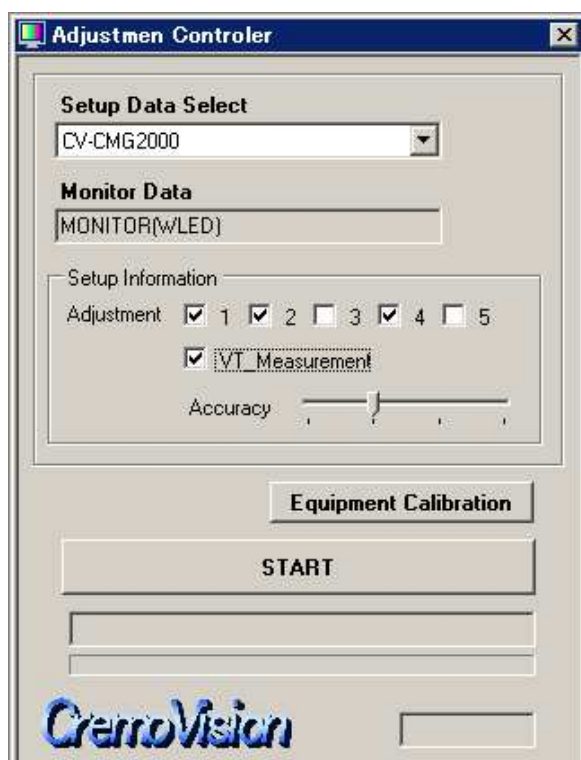


5. 量産ライン用ソフトウェア

実際の量産時には、製造作業員の操作ミスで、設定が変更されてしまい、間違った調整で出荷されてしまうという事故があります。

CV-CMG2000 は、製造ライン専用のソフトウェアが用意され、決められた調整作業しかできないようになっています。ですから、操作ミスによる事故を未然に防ぐことができます。

詳細な設定情報は、CMG-2000 とリンクされています。



【参考】PC の仕様

- *OS : Windows XP(above .NET Framework 2.0SP1) , Windows Vista , Windows 7
- *CPU : Intel CPU
- *Port : Please confirm in advance.
- *Resolution of PC monitor : SXGA

CerroVision

有限会社クレモビジョン

〒210-0023

川崎市小川町 11-10 第 10 平沼ビル 5 階

TEL:044-230-0135

FAX:044-230-0136